

産業廃棄物最終処分場状況調査（遮断型、安定型、管理型） 調査要領（令和 7 年度実績）

I. 本調査について

■ 調査対象施設

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 15 条に基づく許可を受けた（届出し受理された）産業廃棄物最終処分場。

調査対象期間内に設置の許可を受けていた時期のある処分場は全て調査対象です。

○ 調査対象の処分場

- ・ 調査対象期間最終日時時点で設置の許可を受けている施設（未設置又は工事中の施設も含む。）
- ・ 調査対象期間初日時時点で設置を許可されていた産業廃棄物最終処分場のうち、調査対象期間中に廃止又は許可取消となった施設

× 調査対象外の処分場

- ・ 調査対象期間前に廃止又は許可取消（廃止又は許可取消となった日で判断）となった施設
- ・ ミニ処分場、旧処分場

■ 調査対象期間

令和 7 年 4 月 1 日（調査対象期間初日）～**令和 8 年 3 月 31 日**（調査対象期間最終日）

※一部設問（測定結果が基準値を超過していた場合の対応状況）については、調査対象期間最終日より後の最新の状況（調査票記入時点）を記入する必要があります。

自治体の方は「Ⅱ. 自治体用調査要領」、
事業者の方は「Ⅲ. 事業者用調査要領」をご参照ください。

II. 自治体用調査要領

本調査は、調査要領（このファイル）と以下の調査票及び別紙からなります。

- ① （事業者名）R8 遮断型処分場（R7 実績）.xlsx：事業者用調査票（Excel ファイル）
（事業者名）R8 安定型処分場（R7 実績）.xlsx： "
（事業者名）R8 管理型処分場（R7 実績）.xlsx： "
- ①' （事業者名）R8 遮断型処分場（R7 実績）.pdf：事業者用調査票（印刷用）
（事業者名）R8 安定型処分場（R7 実績）.pdf： "
（事業者名）R8 管理型処分場（R7 実績）.pdf： "
- ② xxx○○○R8 処分場（R7 実績）_既存.xlsx：自治体記入用調査票（xxx=自治体番号、
○○○=自治体名。既存施設がある場合、一部の情報はプレ入力あり）
- ③ 別紙_調査票の変更点に関する留意事項.pdf

1. 調査手順

①,③と調査要領（このファイル）を事業者に配布し、記入を依頼
（Excel 調査票の回答が困難な事業者には、①'の印刷物を配布）



回収した事業者用調査票（①,①'）から自治体記入用調査票（②）を作成

①の Excel ファイルの「自治体用」シートの内容を、②の「調査票（遮断型）」「調査票（安定型）」「調査票（管理型）」の 24 行目以降に値貼り付けします（詳細については②に記載）。

【調査票作成作業での留意事項】

- ・列の挿入・削除はしないこと
- ・1 セルにつき、1 データとすること
- ・セルの結合はしないこと
- ・入力したデータを修正（または削除）する際は、「取り消し線」は使用せず、直接データを修正（または削除）すること
- ・令和 8 年度行政組織等調査（令和 7 年度実績）との整合がとれているかを確認すること
- ・事業者から廃止届出がなされた後、廃業等で問合せできず、回答不能な箇所がある場合は、備考欄にその旨記入すること

①'の調査票については、自治体で①の「書面形式」シートに事業者からの回答内容を転記した後、値貼り付け作業を行います。



自治体記入用調査票（②）に必要な情報を入力

②のうち、「調査票（遮断型）」「調査票（安定型）」「調査票（管理型）」の各シートの左上の自治体担当者情報（所属、担当者名、電話番号）を入力してください。また、新規の施設の場合、各施設の情報（(1)自治体番号、(2)自治体名、(3)施設番号）については、自治体での入力が必要です。

(1) 自治体番号

環境省から送付した協力依頼文書の別紙「都道府県・政令市の自治体番号一覧表（令和7年度実績調査）」における自治体番号を半角数字で入力してください。

(2) 自治体名

自治体名を入力してください。

(3) 施設番号

1、2、3…のように通し番号で入力してください。なお、施設が建設中の場合であっても、施設番号の入力は必要です。

「(1)～(6),(7)-2,(8),(9)」はプレ入力あり



自治体記入用調査票（②）のみを環境省委託先（提出先）にメールで送付

提出する際には、調査票のファイル名を変更してください。

【例：自治体番号＝047、沖縄県の場合】

『047 沖縄県 R8 処分場（R7 実績）_既存.xlsx』

→ 『047 沖縄県 R8 処分場（R7 実績）.xlsx』

2. 補足事項

調査対象期間の初日時点で所管している産業廃棄物最終処分場について記入してください。

なお、調査対象期間中に市町村合併や産業廃棄物行政の所管変更があった場合は、新たに所管することとなった処分場についても、関係自治体と連携のうえ記入してください。

Ⅲ. 事業者用調査要領

1. 調査票の回答・提出方法

本調査は、調査要領（このファイル）と以下の調査票及び別紙からなります。

（事業者名）R8 遮断型処分場（R7 実績）.xlsx：調査票（Excel ファイル）
（事業者名）R8 安定型処分場（R7 実績）.xlsx： "
（事業者名）R8 管理型処分場（R7 実績）.xlsx： "
（事業者名）R8 遮断型処分場（R7 実績）.pdf：調査票（印刷用） ※未送付の場合あり
（事業者名）R8 安定型処分場（R7 実績）.pdf： "
（事業者名）R8 管理型処分場（R7 実績）.pdf： "
別紙_調査票の変更点に関する留意事項.pdf

「別紙_調査票の変更点に関する留意事項.pdf」の変更点を確認の上、該当する最終処分場の型のファイル「**（事業者名）R8〇〇型処分場（R7 実績）.xlsx**」のうち「書面形式」シートに回答を記入し（「自治体用」シートは記入不要）、**（事業者名）を貴事業者名に変更**した上で**自治体に提出**してください。

【ファイル名の変更例（管理型処分場のある 株式会社△△）】

『（事業者名）R8 管理型処分場（R7 実績）.xlsx』

→『（株式会社△△）R8 管理型処分場（R7 実績）.xlsx』

Excel ファイルでの回答が困難な場合（紙での提出を希望する場合）は、「**（事業者名）R8 〇〇型処分場（R7 実績）.pdf**」を印刷して回答してください。

2. 調査票記入の際の注意事項

■施設の扱いについて

- ・調査票は、許可を受けている施設ベースで作成してください。
ただし、1 つの施設で複数の許可を受けている（複数の工期に分かれて許可を得ている、区画別に許可を得ている、遮断型最終処分場と管理型最終処分場の併設等）場合は、許可ごとにファイル（調査票）を分けて記入してください。
- ・施設設置許可単位（1 ファイル=1 許可）で記入することが困難な場合は、備考欄にその理由等を記入してください。

■入力方法について

- ・1 つのセルには、1 つのデータのみ入力してください。
- ・数値は半角で入力してください。
また、（ ）付きの数値は入力しないでください。
- ・年月日を入力する場合は、西暦で統一した形式で入力してください。
（例：2025/12/5）
- ・入力内容を修正する場合は、取り消し線は使用せず、一度削除してから入力し直してください。

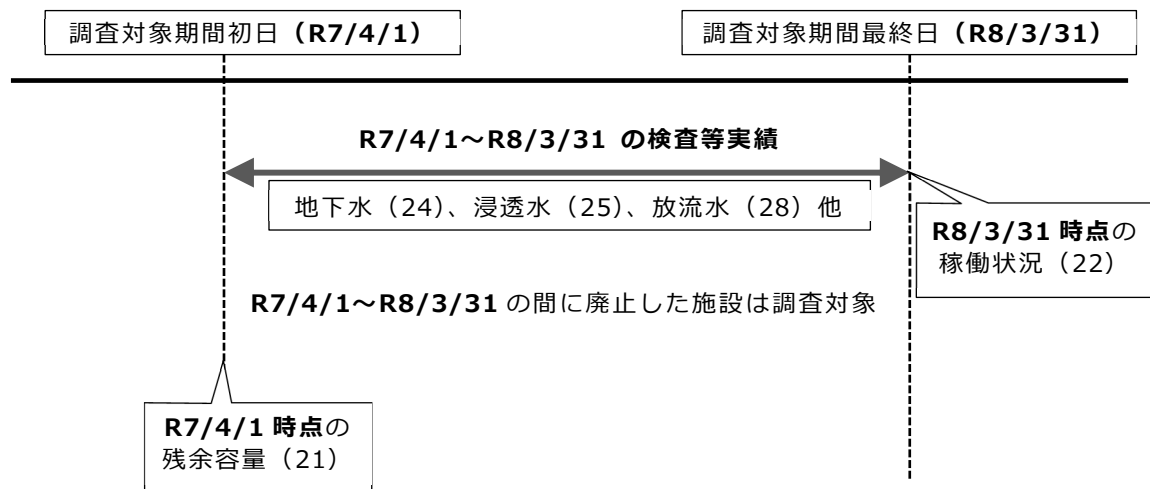
■ 回答欄について

- ・回答方法には、記述式とプルダウン（黄色のセル）による選択式があります。
プルダウンは、セルをクリックすると右下に表示される「▽」から選択できます。
- ・プルダウンの設問で、該当する選択肢がない場合は、「9.いずれにも当てはまらない」を選択してください。
そのうえで、備考欄（遮断型は 256 行目、安定型は 257 行目、管理型は 245 行目）に問番号（例：(23)-1）と理由を入力してください。
なお、「いずれにも当てはまらない」が選択肢にない場合は、回答欄を空欄にし、同様に備考欄へ問番号と理由を入力してください。
- ・「〇〇の有無」などの回答に応じて、入力不要な項目はグレー表示になりますので、グレーの項目は入力しないでください。
ただし、例外的に入力が必要な場合は、グレーの項目にも入力したうえで、備考欄に問番号と理由を入力してください。
- ・入力内容にエラーがある場合、回答欄右側にメッセージが表示されます。回答内容に間違いがないか確認してください。

(22)	稼働状況（調査対象期間最終日時点） ※稼働状況を選択後、該当するものに期間、年月日を記入してください。 (yyyy/mm/ddの形式で記入) 次年度初日に廃止の場合は、調査期間最終日の状況を記入してください。 ※「3.休止中」：休止届出がなされているもの。			プルダウン式の回答欄 4.埋立終了	
	休止中の場合 休止年月日	埋立終了の場合 埋立終了年月日	廃止又は取消の場合 廃止又は取消年月日	エラーメッセージ	
	回答不要欄（入力不要）	2024/12/26 記述式の回答欄	回答不要欄（入力不要）	調査対象期間前に供用されていた処分場が新規供用扱いになっていない	
	新規供用（調査対象期間）			プルダウン式の回答欄	

■ 調査対象期間について

- ・調査期間に関する質問の回答対象となる範囲は以下のとおりです。



3. 調査票回答内容の説明

ここでは、直接入力する項目は『入力』、プルダウンで選ぶ項目は『選択』と表記しています。

印刷した調査票に回答する場合は、『入力』『選択』いずれの項目についても、直接記入をお願いします。

調査票は処分場の型により設問が異なります。この資料で設問の横に該当する型名（**遮断型**、**安定型**、**管理型**）が書かれているもののみ回答が必要となります。

なお、実績値以外の項目で調査対象期間初日時点から変更があった項目は、変更年月日と変更内容（数値等）について、その旨を備考欄に記入してください。

1) 設置者に関すること

(4) 設置者名（記述式） **遮断型** **安定型** **管理型**

調査対象期間中に名称が変わった場合『株式会社▲▲（旧：株式会社△△）』のように入力し、調査対象期間後に名称が変わった場合は調査対象期間中の旧名称を入力してください。

(4) 担当者（記述式） **遮断型** **安定型** **管理型**

自治体からの問い合わせがあった場合に対応可能な方の情報を入力してください。

2) 施設の能力等に関すること

(5) 施設名（記述式） **遮断型** **安定型** **管理型**

調査対象期間中に名称が変わった場合『●●処分場（旧：○○処理施設）』のように入力し、調査対象期間後に名称が変わった場合は調査対象期間中の旧名称を入力してください。

(6) 設置場所（記述式） **遮断型** **安定型** **管理型**

施設設置場所の住所を入力してください。

(7) 許可番号及び設置許可（届出）年月日等（プルダウン式・記述式） **遮断型** **安定型** **管理型**

調査対象期間最終日時点の「産業廃棄物処理施設設置（変更）許可証」に記載された許可番号を入力してください。

※許可単位での施設数をカウントすることから、正確性を担保するため令和7年度実績より許可番号を追加。

※施設が「廃止又は許可取消」となった場合には、「廃止又は許可取消」直前の許可番号を入力すること。

【「許可番号」欄の記入例】

第○号、第○号の○、環第○-○号、指令○○第○号、等

設置許可（届出）の年月日は、最初の設置許可年月日（更新後の設置許可（届出）年月日としないこと）を、西暦で統一した形式で入力してください。（例:2025/12/5）

また、他の種類の最終処分場が併設されている場合は、該当する欄で「○」を選択してください。

(8) 設置者の区分（プルダウン式） **遮断型** **安定型** **管理型**

設置者が複数の区分に該当すると考えられる場合は、当該施設が産業廃棄物処理業の許可に係る施設であるときは「2.処理業者」を選択してください。

「3.その他」には、自治体・廃棄物処理センター・一般社団法人・公益財団法人などの公共関与が該当します。

建設工事等における「排出事業者」には、原則として元請業者が該当します。

何らかの理由により、いずれにも当てはまらないと考えられる場合には「9.いずれにも当てはまらない（備考欄に記載）」を選択し、備考欄に問番号（(8)）とその理由を入力してください。

(9) 埋立場所（プルダウン式） 遮断型 安定型 管理型

該当する選択肢を選択してください。

(10) 処理能力（記述式） 遮断型 安定型 管理型

処分場の処理能力としての埋立面積(m²)及び埋立容量(m³)を入力してください。

複数の工期等がある場合は、「設置の許可を受けている施設（工期）」の合計値を入力してください。

(11) 埋立方式（プルダウン式） 安定型 管理型

該当する選択肢を選択してください。

(12) 廃棄物の許可品目（複数回答可）（プルダウン式） 遮断型 安定型 管理型

当該施設の許可品目に該当するもの全てに「○」を選択してください。

(13) 浸出液処理施設の有無（安定型にあっては浸透水の処理施設）（プルダウン式） 安定型
管理型

浸出液処理施設（管理型）または浸透水の処理施設（安定型）の有無を選択してください。処理施設がない場合は(14)(16)(17)(18)の回答は不要です。

(14) 浸出液処理施設の処理方法（安定型にあっては浸透水の処理施設）（複数回答可）（プルダウン式・記述式） 安定型 管理型

(13)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

浸出液処理施設（管理型）または浸透水の処理施設（安定型）の処理方法の種類について「○」を選択してください。選択肢にない処理方法については「その他」の欄で「○」を選択し、具体的な処理方法を入力してください。

(15) 保有水等集排水管の性能（プルダウン式）

安定型 管理型

保有水等集排水管の性能について、以下の説明をもとに選択してください。

何らかの理由により、いずれにも当てはまらなれないと考えられる場合には「9.いずれにも当てはまらない（備考欄に記載）」を選択し、備考欄に問番号（(15)）とその理由を入力してください。

- ・以下の4つの条件を満たしている場合（＝管きよ等の端部が大気に開放） → 「1.開放」
- ・以下の4つの条件を満たしていない場合 → 「2.無開放」
- ・以下の4つの条件を満たしているかわからない場合 → 「0.不明」

- ①通気設備（又は縦型集排水管）を保有水等集排水管に接続している
- ②通気設備（又は縦型集排水管）が発生ガスのモニタリング等で閉塞していないことを確認している
- ③計画した質及び量を計画する水質に処理していることから、保有水等集排水管が閉塞していないことを確認している。
- ④保有水等集排水管のバルブを常に開放している、又は集水ピットの水位を集排水管出口以下で常に保っている

(16) 公共水域への放流の有無（プルダウン式・記述式）

安定型 管理型

(13)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

公共水域への放流がない場合、その理由について当てはまるもの全てに「○」を選択してください。選択肢にない理由については「その他」の欄で「○」を選択し、具体的な理由を入力してください。

管理型最終処分場で公共水域への放流が有り、浸出液処理施設における処理前の水質の「BOD」（生物化学的酸素要求量）、「窒素含有量」のデータがある場合は、そのデータを入力してください（温暖化影響の試算に用います。）。

(17) 放流先（プルダウン式）

安定型 管理型

(13)で「1.有」を選択し、かつ、(16)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

放流先について該当する選択肢を選択してください。

(18) 放流水の排水量（記述式）

安定型 管理型

(13)で「1.有」を選択し、かつ、(16)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

放流先への排水量を、1日当たりの平均排水量（m³/日）で入力してください。

(19) 埋立地への散水の有無（プルダウン式・記述式）

管理型

当該処分場のうち埋立地[※]への散水の有無について、該当する選択肢を選択してください。

※埋立場所内への散水であることに注意すること。

「1.有」を選択した場合、1日当たりの平均散水量（m³/日）を入力してください。浸出液処理施設で処理した後の水も散布している場合は、その平均散水量（m³/日）も入力してください。

(20) 埋立地での雨水の影響の有無（プルダウン式・記述式） 管理型

当該処分場の埋立地での雨水の影響について、該当する選択肢を選択してください。

「0.無」を選択した場合、講じている措置内容を入力してください。

※「0.無」の例としては、屋根付きの埋立地等が該当する。

(21) 残余容量（記述式） 遮断型 安定型 管理型

調査対象期間初日時点の残余容量（ m^3 ）を入力してください。調査対象期間初日時点で供用開始されていない施設については「×」を、埋立が終了した処分場については「0（ゼロ）」を入力してください。

なお、安定型最終処分場及び管理型最終処分場の許可を併せて受けている同一の処分場については、区画等によりそれぞれの残余容量を把握できる場合、該当する調査票に各々の残余容量を入力してください。それぞれの残余容量を区分して把握できない場合は、残余容量は管理型最終処分場として入力し、安定型の調査票には残余容量に「0（ゼロ）」を入力してください。

また、管理型最終処分場において、建設汚泥のみの残余埋立容量を設定している場合は当該容量を入力し、設定していない場合は「0（ゼロ）」を入力してください。

(22) 稼働状況（プルダウン式・記述式） 遮断型 安定型 管理型

調査対象期間最終日時点の状況について選択してください。処分場内に複数の稼働状況の区域が存在する場合、稼働中の区域があれば「2.稼働中」としてください。何らかの理由により、いずれの選択肢にも当てはまらないと考えられる場合には「9.いずれにも当てはまらない（備考欄に記載）」を選択した上で、備考欄に問番号（(22)）とその理由を入力してください。

なお、調査対象期間最終日の次の日（次年度調査対象期間初日）に廃止又は許可取消した施設に限っては、調査対象期間最終日時点の稼働状況を選択してください。

休止届出がなされている場合は「3.休止中」を、埋立が終了している場合は「4.埋立終了」を、調査対象期間に廃止又は許可取消となった場合は「5.廃止又は許可取消」を選択し、該当する年月日を西暦で統一した形式で入力してください。（例：2025/10/1）

「2.稼働中」、「3.休止中」、「4.埋立終了」又は「5.廃止又は許可取消」の施設のうち、調査対象期間中に新規供用された施設には「新規供用（調査対象期間）」の欄で「○」を選択してください。

(23) 廃棄物埋立量 ※覆土分を除く（記述式） 遮断型 安定型 管理型

覆土分を除く廃棄物埋立量について、以下の項目を入力してください。

・調査対象期間の廃棄物埋立量（ m^3 /年）

太陽光パネル由来の廃棄物の受け入れ可否

・可→「1.受入可能」→うち、太陽光パネル由来の廃棄物埋立量（ m^3 /年）を入力

・否→「0.受入不可」

・累積の廃棄物埋立量（最終処分量）（ m^3 ）

過去年度の埋立量も含め、外部委託（セメント材で使用等）により、調査対象期間の廃棄物埋立量がマイナス値となる場合は 0（ゼロ）を入力して、備考欄に問番号（(23)-3）及びその旨を入力してください。

(24) 周縁地下水の水質検査結果（プルダウン式・記述式） 遮断型 安定型 管理型

調査対象期間に実施した周縁地下水質検査結果の「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」（以下「基準省令」という。）の別表第二（地下水等検査項目に係る基準値）への適否について、以下のとおり選択・入力してください。

- ・ 適合している → 「1.適合」
- ・ 適合していない → 「0.不適合」 → 不適合物質名と原因、講じた措置を入力
- ・ 検査を実施していない → 「x.未実施」 → 未測定の原因を入力

「0.不適合」の原因について「1.その他」を選択した場合は、あわせてその詳細（考えられる原因等）も具体的に入力してください（自然由来、上流側での水質悪化と推測等）。

「0.不適合」の場合は、基準超過判明後に講じた措置について、調査票記入時点における最新の状況（調査対象期間以降の対応も含む）を入力してください。不適合の原因が自然由来の可能性が高い場合も「経過観察（自然由来の可能性が高いため）」「特に講じていない」等、入力してください。

(25) 浸透水の水質検査結果（プルダウン式・記述式） 安定型

調査対象期間に基準省令第2条第2項第2号ホに基づき実施した浸透水の水質検査結果の同号ホに掲げられた値への適否について、以下のとおり選択・入力してください。

- ・ 適合している → 「1.適合」
- ・ 適合していない → 「0.不適合」 → 不適合物質名と原因、講じた措置を入力
- ・ 検査を実施していない → 「x.未実施」 → 未測定の原因を入力

「0.不適合」の原因について「1.その他」を選択した場合は、あわせてその詳細（考えられる原因等）も具体的に入力してください（自然由来、上流側での水質悪化と推測等）。

「0.不適合」の場合は、基準超過判明後に講じた措置について、調査票記入時点における最新の状況（調査対象期間以降の対応も含む）を入力してください。不適合の原因が自然由来の可能性が高い場合も「経過観察（自然由来の可能性が高いため）」「特に講じていない」等、入力してください。

(26) 遮水工（プルダウン式） 安定型 管理型

遮水工がある場合、a～dで該当するもの全てに「○」を選択してください。

遮水工がない場合、e～gで該当するもの1つに「○」を選択してください。

(27) ガス抜き管の設置等（プルダウン式・記述式） 安定型 管理型

ガス抜き管の設置がある場合、埋立ガスの処理について該当するもの全てに「○」を選択し、a または b を選択した場合、具体的な量と方法も入力してください。

(28) 放流水のほう素及びその化合物等の水質検査結果（プルダウン式・記述式） 管理型

(16)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

暫定基準項目及び規制値の変更を検討する必要がある項目のうち、調査対象期間に実施した放流水の水質検査（**行政検査・自主測定を問わずすべての測定結果が対象**）の有無を選択し、測定を行った場合は、基準値、平均値及び最大値を入力してください。

【基準値入力の際の注意事項】

- ・基準省令の別表第一における基準値を入力すること
- ・数字のみを入力すること
- ・基準値欄のない項目については入力不要

【平均値・最大値入力の際の注意事項】

- ・**1 回のみ測定した場合は、同じ測定値を平均値と最大値の欄の両方に入力し、複数回測定した場合は、すべての測定結果から平均値、最大値を求める**こと
- ・測定の結果、測定量が定量下限値を下回る場合は、「<0.001」のように入力し、検出限界値を下回る場合は、「ND」と入力すること
なお、複数回分の測定結果からの平均値の算出にあたっては、「ND」の場合は 0（ゼロ）を、定量下限値未満の場合は定量下限値の 1/2 の値を用いること。（平均値はすべての測定結果から求めること）
- ・複数回の測定結果が、いずれも同じ定量下限値未満だった場合、平均値は定量下限値の 1/2 の値を入力し、最大値は定量下限値未満を入力すること。
例：<0.001 の測定結果が 2 回 → 平均値「0.0005」、最大値「<0.001」
- ・定量下限値が異なる複数の測定結果が、ともに定量下限値未満となった場合、最大値は値の大きい方の定量下限値を入力すること。
例：<0.001、<0.002 の測定結果が各 1 回 → 平均値「0.00075」、最大値「<0.002」

調査対象期間初日時点で稼働中の施設であって、未測定の項目がある場合は、「未測定の項目及び理由」を入力してください。測定結果待ちの場合は、未測定の項目及び理由には「分析中」と入力し、本調査実施中に結果が出た場合は必ず報告をしてください。

入力を行った測定項目のうち、測定結果が基準値を超過している項目（複数回の測定を行っている場合は個々の測定値で基準の適否を判断してください）があった場合は、「基準値を超過していた場合の対応状況」について、調査票記入時点における最新の状況（**調査対象期間以降の対応も含む**）を入力してください。

【対応状況の入力例】

[項目名]の基準超過のため、{継続監視・施設停止・改善・等}を{指導・命令・等}。
現在は{基準に適合を確認した・改善中である・等}ため、
{○月○日より稼働再開・停止中・等}。

(29) 放流水のダイオキシン類測定結果（プルダウン式・記述式） 管理型

(16)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

調査対象期間に実施した放流水の水質検査（**行政検査・自主測定を問わずすべての測定結果が対象**）におけるダイオキシン類濃度※の測定結果の有無を選択し、測定を行った場合は、基準値、平均値及び最大値を入力してください。

※ダイオキシン類対策特別措置法第2条第1項に規定するダイオキシン類をいう。また、濃度の算出にあたってTEF（毒性等価係数）はWHO-TEF(2006)（別表1。調査票の最後に掲載されている）を用いることとする。

【平均値・最大値入力の際の注意事項】

- ・ **1回のみ測定した場合は、同じ測定値を平均値と最大値の欄の両方に入力し、複数回測定した場合は、すべての測定結果から平均値、最大値を求める**こと
- ・ 測定結果が検出限界値を下回る場合は、「ND」と入力すること
なお、複数回分の測定結果からの平均値の算出にあたっては、「ND」の場合は0（ゼロ）を用いること

調査対象期間初日時時点で稼働中の施設が未測定の場合は、「未測定の理由」を入力してください。測定結果待ちの場合は、未測定の理由には「分析中」と入力し、本調査実施中に結果が出た場合は必ず報告をしてください。

測定結果が水質基準値を超過している（複数回の測定を行っている場合は個々の測定値で基準の適否を判断してください）場合は、「基準値を超過していた場合の対応状況」について、調査票記入時点における最新の状況（**調査対象期間以降の対応も含む**）を入力してください。

【対応状況の入力例】

{継続監視・施設停止・改善・等}を{指導・命令・等}。
現在は{基準に適合を確認した・改善中である・等}ため、
{○月○日より稼働再開・停止中・等}。

(30) 建設汚泥（中間処理を行ったものを含む）の受入有無（プルダウン式・記述式） 管理型

型

建設汚泥（中間処理を行ったものを含む）の受け入れの有無を選択してください。

建設汚泥の受入がない場合、a～fで該当する理由の全てに「○」を選択してください。「f.その他」に「○」を選択した場合は、具体的な理由も入力してください。

建設汚泥の受入がある場合、年間受入量を**体積（ m^3 /年）もしくは重量（ t /年）で入力**してください。年間受入量が不明または記入不可の場合は、a～cで該当する理由の全てに「○」を選択してください。「c.その他」に「○」を選択した場合は、具体的な理由も入力してください。

(31) 建設汚泥の受入条件（プルダウン式・記述式） 管理型

(30)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

建設汚泥の受入条件について、「受入上限（数量）」「含水率の上限」「基準値」「排出源の限定」の有無を選択し、「1.有」を選択した場合は、詳細について選択・入力してください。

【受入条件入力の際の注意事項】

- ・該当する選択肢に「具体的な内容」欄がある場合は入力すること
- ・「受入上限（数量）」については、残余埋立容量を考慮し、明確な上限値を決めていない場合は「0.無」とすること
- ・「受入上限（数量）」で「1.有」を選択した場合で、年・日・回当たりの上限を決めている場合は、具体的な上限値は体積[m³]もしくは重量[t]のどちらかを入力すること
- ・「基準値」で「1.有」を選択した場合で、「c.その他」に該当する場合は、必要に応じて別表添付も可能

(32) 建設汚泥の年間（又は日単位、月単位）の受入可能量（プルダウン式・記述式）

管理

型

(30)で「1.有」を選択した場合のみ回答してください。

建設汚泥の年間受入可能量について、設定の有無を選択し、それぞれの選択肢に応じた詳細について選択・入力してください。

【年間受入可能量の設定がある場合の注意事項】

- ・年間の受入可能量の設定について、a～cのいずれか1つを選択すること
- ・「a.受入上限と同じ」は、**(31)で受入上限（数量）「1.有」を選択した場合のみ選択可能**
- ・「b.別途定めている」を選択した場合は、具体的な数値は体積[m³/年]もしくは重量[t/年]のどちらかを入力すること
- ・「c.その他」を選択した場合は、具体的な内容を入力すること

【年間受入可能量の設定がない場合の注意事項】

- ・年間の受入可能量を決めていない理由について、a～gのいずれか1つを選択すること
- ・「c.運搬制限を定めているため」を選択した場合は、ダンプトラックの数値は単位「台/日」もしくは「台/年」のどちらかを入力すること
- ・「g.その他」を選択した場合は、具体的な内容を入力すること

(33) 敷地内における太陽光パネルの設置状況（プルダウン式・記述式）

遮断型

安定型

管理

型

敷地内における太陽光パネルの設置状況について、「a.設置無し」、「b.設置無し（以前設置していた）」、「c.設置有り」のいずれか1つを選択してください。

設置がある場合（以前設置していた場合も含む）、選択肢（bまたはc）に応じた設問について選択・入力してください。

設置場所や発電事業主体で、「その他」を選択した場合、具体的な内容について入力してください。

以上